

Since 1973

No. 153

エヴァンゲリウム・カントライ

2023年  
12月

*Evangeliums Kantrei*

## 『みことばを伝えるために』

矢吹綾子



「主は、この口に授けて下さった。  
新しい歌を 私たちの神への賛美を。  
多くの者は見て恐れ、主に信頼するだろう。」詩篇40篇3節

私は、音楽をもって主に仕えていきたいという思いが与えられ、1986年に、聖書宣教会の教会音楽科に入会しました。カリキュラムにある合唱の授業は、音楽科の責任を担っておられた岳藤豪希先生が創立されたエヴァンゲリウム・カントライに参加することでした。初めてカントライに参加した時、練習の2時間、一瞬も気を緩めることができず、圧倒されたのと同時に、練習後の雰囲気とのあまりの違いに驚いたのを今でもよく覚えています。カントライは、歌いたいからとか、合唱が好きだからという理由で団員になった人たちによる音楽団体ではなく、音楽をもって、みことばを伝えるために献身した人たちによる宣教団体だったのです。岳藤先生は、みことばを伝えるため、音楽の技術的な訓練とともに、霊的にも目覚めさせてくださいました。カントライの練習では、毎回、霊的な満たしが与えられ、多くの恵みが与えられました。

卒業後は、カントライの演奏会において、オルガンの伴奏や演奏をさせていただいていますが、ドイツでの演奏旅行の忘れられない出来事があります。原語のまま歌うほうが、音とことばが結びついているため、カントラ

イの定演では、音とことばの結びつき学ぶためにもドイツ語で歌うことがあったのですが、ドイツでの演奏旅行でドイツ語でカントライが歌うのを、ドイツ人の来場者の方々が、涙を浮かべて聴いてくださったのです。岳藤先生のご指導と指揮で、団員が祈りつつ、一つとなってドイツ語で歌ったみことばが、ドイツ人の心に届いたことを、身をもって体験させていただきました。日本の諸教会での演奏会では、カントライは日本語で歌いますが、オルガンの伴奏をしながら、歌われるみことばや、みことばを元に作られた歌詞が会衆の心に届くようにと、祈りつつオルガンの伴奏をし、共に主を賛美できることの恵みに感謝しています。

ここ数年はコロナ禍で、対面で練習することや演奏会を開催することができない状況でしたが、新たにオンラインを用いて宣教の働きが進められていることをうれしく思います。創立されてから半世紀という長い間、福音宣教のため、カントライを用い続けてくださっている主をほめたたえます。これからも諸教会やオンラインによる演奏会が豊かに用いられますようお祈りいたします。

(聖書神学舎 教師)



## 『E.カントライ 創立50周年に寄せて』

## 永谷俊之

1979年6月8日金曜日。虎ノ門ホール(2004年解体)で開かれたE.カントライ第6回定期演奏会「ヨハネ受難曲」。今から44年前、恵みにより信仰を与えられたその年に、神様は私にE.カントライとの出会いの機会を与えてくださいました。その時の印象は通常の音楽会で受けるそれとは、全く違っていました。訳詞を読みながら聞いたヨハネ受難曲は聖書そのものであり、イエス様の恵みの一つ一つが私の心に直接迫ってきて魂が大きく揺さぶられました。E.カントライの音楽的な素晴らしさを聴きに行ったつもりでしたのに、心に残ったのは音楽にのせて語られた神様の御業でした。この時の出会いがその後の私の人生を決定付けたように思います。この感動を残せないものか、多くの人と分かち合えないだろうかという思いが与えられ、レコーディングエンジニアという職業を目指すきっかけになりました。

放送局に就職し基礎的な技術を身に付ける一方、カントライの演奏を録音する機会を通して大切な事を学びました。それは、録音された音源がテキスト(み言葉)を確実に伝え、聴く人の魂を揺さぶっているかという事でした。録音する上で最も重要な事です。以来、岳藤先生が繰り返しおっしゃっていた「テキストが重要で、音楽はそれを支える」、このことを心に留めながら録音の奉仕をしてきました。

E.カントライとの奉仕の中で与えられた具体的な恵みとして、CDのリリースとドイツ演奏旅行への同行があります。

E.カントライの音楽を通した伝道の働きや歌われているテキストをもっと多くの人に届けるためにCDをリリースすることを提案しました。主の恵みと導きのうちに、また、当時の団員の方々の努力、岳藤先生の熱血指導、そして関わったすべての方々の献身によって2枚のCDが世に出て行きました。また、ドイツ演奏旅行(第2回、第3回、第4回)に同行し各地の教会で演奏をライブ録音しました。限られた機材を使い、毎日違う教会での演奏を何とか工夫して録音する、それもドイツで。日本では絶対できない経験で、技術的にも多くのことを学びました。主に仕える、み言葉の音楽に仕えることを、共に体験できたことは何より大きな恵みでした。仕事で得た技術を神様のために活かすと同時に、奉仕での経験が後の仕事でも役立つという恵みをいただきました。

J.S.バッハやH.シュッツ等のみ言葉をテキストとする作品。それらをE.カントライが忠実に演奏し、同じ思いで録音して残し、それらがCD等の媒体を通して聴く人々へと伝わっていく。そのように信仰によって貫かれた宣教の末端に加わることができたことを感謝すると共に、神様の御名を崇めます。

E.カントライの活動に期待し、これからも微力ながらお手伝いさせていただきます。

「私たちは自分自身を宣べ伝えているのではなく、主なるイエス・キリストを宣べ伝えています。」

Ⅱコリント4:5

(東京聖書教会会員)



## 記念配信レコーディング報告

11/4(土)東京聖書教会にて



諸事情により延期となっていました、50周年記念配信用のレコーディングがついに！東京聖書教会の皆様、録音技師の永谷兄、矢吹綾子師(オルガン演奏)のご協力のもと無事終了しました。お祈りにも感謝いたします。只今、編集作業中です。年明けには、皆様にご視聴いただける予定です。様々な形で用いられ、主の御名がほめたたえられますように願います。

## 【訂正版】 記念賛美曲目

- |         |                |            |
|---------|----------------|------------|
| 1. 斉唱   | アダムの墮落が        | ドイツ福音賛美歌   |
| 2. 合唱   | 求めよ神の国とその義     | 教会合唱曲集Ⅱ-2  |
| 3. 斉唱   | 神は実にそのひとり子を    | 岳藤豪希作品集-23 |
| 4. 三重唱  | 血潮したたる         | E. ペッピング   |
| 5. 合唱   | 主はよみがえりぬ       | H. ディストラー  |
| 6. 合唱   | 来たれ聖霊          | M. プレトリウス  |
| 7. オルガン | 来たれ聖霊 Buxwv199 | D. ブクステフーデ |
| 8. 合唱   | 主の御名をほめたたえよ    | 教会合唱曲集Ⅰ-22 |

前回のお知らせで記載漏れがありました。こちらをもって訂正いたします。

2023

## クリスマス オンラインコンサートご案内

- 日時：2023年12月15日(金)19:30(約一時間)
- 形態：YouTube 同時ライブ配信  
(その時間だけ誰でも視聴可能。後日視聴不可)  
※視聴方法：今までと変わります。

※以下のいずれかの方法で視聴できます。

- ①カントライホームページトップ画面「オンラインコンサート視聴は《こちらから》」
- ②事前に事務局や団員に申し込み→送られたURLからYouTubeに入る。
- ③その他・ホームページのQRコードから(このニュースの中にもあります)。  
・50周年記念誌、ポストカードのQRコードから

### 2023-2024年 活動予定

2023年12月15日(金) オンラインクリスマスコンサート  
2024年5月18日(土) 佐倉福音キリスト教会コンサート

\* 今後の状況によって変更の可能性がありますので、ご確認をお願いいたします。

### 献金2023年9月-11月

( )内の数字は件数です。

尊い献げものをありがとうございました。感謝をもってご報告いたします。(敬称略)

<賛助会> (教会) 前橋キリスト教会(3)、浦和福音自由教会(3)、東京聖書教会(4)、  
北栄キリスト教会(3)、川越聖書教会、長津田キリスト教会

(個人) 高張美恵子(2)、片山修司、飯島勅・千雍子(3)、潮田徹、八橋真木子  
尾田睦江、矢野基・喜美子、方波見知子

<献金> (教会) 湘南ライフタウンキリスト教会(3)  
(個人) 団員

#### 編集後記

主イエス・キリストがこの世にお生まれになった良き知らせを、賛美をもって喜び、お伝えで  
きますことに感謝します。皆様のクリスマス礼拝の祝福をお祈り申し上げます。(事務局)

〒251-0861 藤沢市大庭5529-8シャルマンコーポ404 小山方

Tel. 070-2834-4304

郵便振替 00100-3-21060 聖書 新改訳2017©新日本聖書刊行会